博士の研究所 みのき 5

土岐市はやきもの生産日本一

給食食器について教えて～

美濃焼振興室
（☎㊾8312）

学校で毎日使う給食食器。材質の「高強度磁器」は1985年市立陶磁器試験場が日本で初めて開発したものじゃ。現在では全国の学校・病院・官公庁などで広く利用されておるぞ。

土岐市内小中学校・採用

正しく並べられるかね？ご飯は左！配膳マナーは身に付けるべし。

西陵 学校 3 年　M・Hさんデザイン

"給食"というのは、たのしく食べる事が大切です。そのため、皿の大きさを大小して楽しさを表現しました。そしてフォークとスプーンを反対にすることで、バランスのよい盛り付け方が出来ると思います。このデザインの皿で給食を楽しんでくれればうれしいです。

土岐市内幼稚園・採用

土岐市民のデザインで嬉しいのぅ。より給食も美味しく感じられるぞ。

泉小 学校 6 年　M・Kさんデザイン

土岐市民全員が仲良くたのしくすごせる土岐市にしたいので、みんなが手をつないで笑っている絵にしました。

▶高強度磁器とは

土岐市開発の極めて強度の高い磁器。アルミナというファインセラミックスの材料を調合し、一般磁器の3倍以上の耐久性を実現した。商標登録済みで、製品には土岐市のマークが付く。

高強度磁器®
2300
商標マーク登録済

▶デザインは土岐市の生徒から

現在市内で採用されている給食食器の絵柄は、市内の児童生徒1770人の思いあふれた応募作品の中から選ばれた。

▶絵付はイングレーズで安全

イングレーズと呼ばれる絵付技法を駆使することで、絵具の劣化や溶出のない安全な食器となっている。

90年頃より安全意識の高まりと共に、全国でプラスチック製や金属製から、高強度磁器の給食食器に切り替える自治体が増えたのじゃ。有害物質の心配も無く、絵付も剥げないからのぉ。便利さより大切なものがあるのじゃよ。

市長の部屋から

9月2日(土)

長年にわたり社会に貢献されてきた方々への感謝の意を表し、長寿をお祝いする「土岐市敬老会」を文化プラザで開催しました。今年度中に90歳となる方をお招きし、62人の方に出席いただきました。舞踊ゆきこま会や土岐少年少女合唱団の皆さんによる余興も行われました。

昨今、本市におきましてもますます高齢化が進んでいます。高齢者の皆さんの健康寿命をいかに伸ばしていくのかが本市の課題であり、皆さんには健康で充実した毎日を送っていただきたいと考えております。今日お集まりの皆さんはその模範となる方々であり、これからも健康管理に十分に気を付け、元気で長生きしていただきたいと思います。これからのご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

土岐市長　加藤　靖也